

# 地域の災害医療体制の整備に取り組んでいます

近年、地震や台風のほか「数十年に一度」といわれるような豪雨も頻発し、災害への備えがますます重要になってきています。阪神・淡路大震災での災害対応や、JR福知山線脱線事故での多数の患者さんの同時受け入れなどを経験した兵庫医科大学では、中期事業計画において「地域における災害拠点病院機能の充実」を掲げ、病院防災と地域の災害医療体制の整備に力を入れています。

## 兵庫医科大学病院は 災害拠点病院に 指定されています

災害拠点病院とは、災害時に医療救護活動の拠点となる病院のこと。重症傷病者の受け入れや医療救護チームの派遣、患者さんの広域搬送など、災害時の救急医療体制を確保するためのさまざまな機能を有しています。

## ▶ 兵庫医科大学に危機管理医学講座を開設

兵庫医科大学では、より一層の災害医療の発展と社会課題の解決を目指して、2023年4月に「危機管理医学講座」\*を開設しました。病院防災と災害医療体制の整備をはじめ、災害時における医療の充実・発展をテーマに、臨床・教育・研究を行っています。

※特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンを母体とした寄付講座です

災害時の医療は、人・物などが不十分な状態で行うことがほとんどです。多くの方々を守るためには、ありとあらゆる知識と技術の応用、的確な判断力が医療機関に求められるほか、行政や消防、ほかの医療機関、福祉施設などと連携し、地域全体で災害医療体制を構築しておく必要があります。患者さんや地域の方々にも、災害時には、例えば重症の方を多く受け入れるために可能な患者さんに転院や退院をお願いする必要があるといったことをご理解いただき、災害時の医療の維持にご協力をお願いしたいと思います。



兵庫医科大学  
危機管理医学講座  
特任助教 わたなべ あきひろ 渡邊 暁洋

## 令和5年度近畿地方DMATブロック訓練が行われました

2023年11月11日、武庫川等が氾濫するなどの災害を想定し、行政機関や県内外の医療関係機関、民間機関などが参加する近畿地方のDMATの訓練が実施されました。兵庫医科大学病院からも、医師、看護師などで構成されたDMATの1チームが参加しました。

### DMAT（災害派遣医療チーム）とは

大規模災害や大規模な事故の発現場場で救命医療を行うことができる、専門的な研修や訓練を受けた医療チーム。



災害対策本部で院内搬送をオンラインでモニタリングしている様子と患者の搬送調整をする当院DMAT



当院スタッフが院内の被害状況を災害対策本部に報告